問水郷佐原観光協会　☎FAX(52)6675

華やかなひな衣装に身を包んだお内裏様とおひな様一行が、雅楽の美しい音色とともに小野川を水上パレードする「さわら雛舟」の出演者を募集します。

■期日　3月14日㈯・15日㈰

■定員　お内裏様とおひな様…男女各1人、五人囃子…男性5人(40歳まで)、官女…女性8人、稚児…女性19人(幼稚園・保育園児～小学3年生)

※応募者多数の場合は抽選

■内容　ひな衣装を着て、各役に扮して舟に乗り、小野川を巡ります。

■費用　自己負担(交通費など)

小江戸さわら春祭り出店者を募集

水郷・北総地域の特産物販売など、「食」の魅力を広くPRする出店者を募集します。

■日時　3月14日㈯・15日㈰　10時～16時30分

■場所　町並み観光駐車場(伊能忠敬記念館裏)

雛舟出演者・春祭り出店者
申し込み方法

2月13日㈮(必着)までに申込書を〒287-0003 佐原イ81-31 水郷佐原観光協会まで郵送、ファクスまたは持参　※雛舟出演を希望する人は「雛舟参加者募集係」と明記

※申込書は水郷佐原観光協会で入手するか同協会ホームページからダウンロードできます

HPhttp://www.suigo-sawara.ne.jp/

香取遺産

Vol.102

問生涯学習課　☎(50)1224

山之辺のささら舞を伝える弥勒碑
ふりょうがまいる どれからまいる

▲ささら舞の道行き

▲ささら舞の起源が記された弥勒碑

市の西部、玉造の住宅地を臨む台地の奥に、ひっそりとたたずむ石碑があります。この石碑は昭和12年の4月に地区の人たちによって建立されたもので、正面には「筰鬆舞先祖越後国弥勒碑」と刻まれており、背面には昭和53年まで、この地に伝承されていた「ささら舞」についての起源が記されています。その内容は「神話の昔、香取の祭神である経津主命が豊葦原中津国を平定する際、陣中で踊らせたものが伝わったという。詳細を記した文書は嘉永年中に火災にあい焼失してしまった。言い伝えでは土御門天皇の時代（鎌倉時代）に香取神宮の神幸祭に供奉していたが、やがて時代とともに衰退し、徳川の時代になって、越後の国の弥彦神社の神主弥勒という人が来て調子を整えた。その弥勒塚と伝えるこの跡に一碑を建ててお祀りする」というものです。

今は伝承が途絶えてしまっている、「ささら舞」とはどのような芸能だったのでしょうか。

「ささら舞」はその名のとおり、「ささら」という2本の竹を摺りあわせる楽器を用いる舞（踊）のことです。ささらを持つのは14人の児童で、これに露払いの天狗、大太鼓、小太鼓、笛がつきます。ささらの踊りは、天狗を中心にささら役が輪になって囲み、手に持ったささらを大きく摺りながら踊歌に合わせて輪をすぼめて行くというものです。「山之辺のささら舞」は、ささらを使って囃したてる行為がすなわち踊りになっているもので、その出で立ちや踊りの形からも中世以来の風流踊を伝えていました。

「ふりょう（＝風流）がまいるどれからまいるこうや駿河の国からまいる」という歌い出しは、この芸能の出自をなにより物語っているといえるでしょう。

文芸

作品募集　はがき1枚に俳句2句・短歌2首のどちらかと、本名、住所、電話番号を記入し、〒287・8501　広報かとり「俳句」または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分（12月は10日締切）を審査し、翌月号に掲載。掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

香取俳壇

谷本　元子選

足音は達郎の歌クリスマス　加藤　裕太（佐原イ）

評　今年も山下達郎の「クリスマス・イブ」の流れる季節が来た。歌詞の切なさが、聴く者の心を捉える。「足音」の措辞は、やや難解だが、一句の奥行を深めている。作者は若者か。

日と月の光みな受け吊し柿　奥村　利夫（一ノ分目）

すれちがふ御坊の胸に赤い羽根　郡　千恵子（下小川）

本棚を背負ふ夫の座掘炬燵　尾形　正子（木内）

気が焦りあせつて躓く年の暮れ　宮崎　弘（白井）

父島のありて母島冬ぬくし　篠塚　英允（木内）

香取歌壇

稲村　恒次選　・旧仮名遣い

晩秋の苑の花壇に色褪せて一輪ゆらぐ朝顔の花　多田　エイ（小見川）

評　作者は97歳、特養老人ホーム水都苑の職員方に支えられて生きています、とあった。晩秋の苑庭に風に揺らぎ咲く一輪の朝顔に嘱目、息づくいのちの尊さを自分の今に重ねて表白、しみじみとして味わい深い詠となった。

初冬にもめげず紫紺の花開く琉球朝顔のいのち逞し　鈴木　一満（八筋川）

土嚢いくつ戸口に並べ備へたり夫なきあとをしかと守らむ　長嶋　理子（高萩）・

冬立つ日もどり来る鴨数を増し羽音するどく澄む空を截る　繪鳩　昌之（府馬）

寝たきりになるかと懼れし足の浮腫癒えて歩ける夢の様なり　伊藤　こと（小見川）

これという仕事なけれど日々をつつがなくいてまた明日がくる　高木　イト（大根）

編集後記

いも祭前夜祭の取材は11月とはいえかなり冷え込みました。まだ風がなかったので耐えられたのですが、焼いも広場に火が入ると煙が周辺に溜まっていて、立っていると息苦しくてたまりませんでした。火事の時は姿勢を低く、と言いますが、煙の中ではしゃがむと息がしやすくなる、ということを、図らずも実体験できた取材でした。

もちろん防寒のため着て行った上着には煙の臭いが染みついてしまい、消臭に悪戦苦闘。それどころか、数日間カメラにまでかすかに臭いがついてしまいました。…煙、おそるべし。（N）

つながろう かとり　広報 かとり　香取市　Katori

平成26年(2014)12月15日号 №210

編集　香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501　千葉県香取市佐原ロ2127
TEL 0478-54-1111　FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp

今月の納期限
1月5日㈪

国民健康保険税　(6期)
介護保険料　(6期)
後期高齢者医療保険料　(6期)

今月の休日納税相談日
12月21日㈰

広報かとりは再生紙を使用しています　UD FONT 誰にでも読みやすいUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています